

出題の意図

看護学部 アドミッション・ポリシー

①知識・理解

入学後の就学に必要な基礎学力を有している。高等学校で履修する国語、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

②思考・判断

さまざまな問題に立ち向かい、多面的かつ論理的に考察することができる。

③関心・意欲

人間の生命と健康に深い関心を持ち、積極的に社会貢献する意欲がある。

④態度

豊かな感性と誠実な態度で、積極的に他者と関わることができる。

⑤意欲

看護学を主体的・創造的に学ぶ意欲を有している。

⑥表現

自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

出題の意図

上記アドミッション・ポリシーの①・②・⑥に該当するかを判断するための問題です。

まず、①（知識・理解）に関しては、高等学校の家庭科や公民科の授業を通じて、消費生活問題についての基礎知識を習得できているかを問う設問となっています。

次に、②（思考・判断）に関しては、問題1で、消費生活相談件数の増加の要因を、特に高年齢層の置かれた状況に着目して考察することを求め、問題2で、SNS 広告を巡るトラブル発生の背景を、SNS 上の広告表示の仕組みと関連付けて説明し、さらに SNS 利用者が講じるべき対策を考察することを求められています。SNS 広告の問題は、スマホ世代の受験生にとっても身近なものであり、そうした問題に立ち向かうための、多面的かつ論理的な考察力が求められる設問となっています。

そして、⑥（表現）に関しては、問題1・2共に、400 字という比較的少ない字数の中で、説得力のある論述を求める設問となっています。自分の伝えたい内容を絞り込み、それらを的確に表現していくことが肝要です。